

FreshTalk

～ フレッシュトーク ～



稚内信用金庫雄武支店

福士 華さん (新町)

「7月から転勤で雄武支店で勤務しています。」
千葉県で生まれ、小学校から大学卒業まで札幌市に住んでいたという福士さん。稚内市にある本店に就職した後、雄武町に転勤となり、4か月が経ちました。

「利益を重視する銀行と違い、地域の発展を大切にする信用金庫の仕事にひかれました」と話す福士さん。しかし、本店での専門的な分野に特化した仕事とは違い、地方の支店では少人数で多くの仕事を担当する必要があったことに戸惑いを感じたようでした。「窓口業務に出納業務と一度にたくさんのお金を扱うのが大変ですが、生活する

ためにも重要なお金をお預かりする仕事なので、責任を持ちながら、色々な仕事を覚えていきたいです」「前任地では外貨両替の時に英語を片言でしか話せず、伝わっていないのか不安になりました。今は、英語を勉強したいです」と意気込みを話してくれました。

そんな福士さんの趣味は、舞台やミュージカルを見ること。「学生時代は月に一度は見に行っていたほどでしたが、今は仕事があるため見に行く機会は減ってしまいました。東京や大阪、名古屋まで見に行くこともあります」と行動的な一面も見せてくれました。

仕事に興味に日々充実した福士さんに、これからも注目です。

雄武町民憲章 (町民の誓い)

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和46年3月19日制定

▼普段の出勤は車ですが、気分転換に歩いて出勤したとき、登校途中の子どもたちと一緒になりました。子どもたちは、凍った水たまりを割ってみたり、追いかけてこを始めてみたりと、ただの登校なのにとても楽しそうでした。元気な姿を見ていると、こちらも元気が出てきますね。(大辻)

◆編集後記

Editor's note

▼今年も残すところ1か月、テレビも年末特番が増えますね。先日買っている物をしていて、聞き覚えのある歌が聞こえてきました。よく聞くと、保育園児が生活発表会での演目を歌い踊る姿が。テレビでその曲が流れるたび楽しげな笑顔を思い出し、私も思わず笑顔になります。(内宮)